

介護支援専門員アンケート(桃色)設問について

高齢者福祉計画及び 介護保険事業計画策定委員会	
R2.5.29	資料4-2

設問 番号	設問	考え方	国 設問	市独自 設問	過去から の継続
1	あなたの性別を教えてください。	基本項目		○	○
2	令和2年1月1日現在のあなたの年齢を教えてください。			○	○
3	介護支援専門員としての経験年数を教えてください。			○	○
4	あなたが介護支援専門員以外に持っている資格を教えてください。			○	○
5	あなたが現在働いている事業所の運営形態はどれですか。			○	○
6	あなたが現在働いている事業所の種類はどれですか。			○	○
7	あなたが現在働いている事業所にあなたを含めて何人の介護支援専門員がいますか。	1人介護支援専門員の事業所を把握する。		○	○
8	令和2年1月分のケアプランを何人分作成しましたか。	介護支援専門員がどの程度対象者を受け持っているかを把握する。		○	○
9	問8で回答した人数のうち、介護予防ケアプランを何人分作成しましたか。	要支援認定者をどの程度受け持っているかを把握する。		○	○
10	ケアプランを立てるにあたり、生活機能の状態のほかに、どのようなことに気をつけていますか。	ケアプランを作成するにあたり、どのようなことに気をつけているのかを把握する。		○	○
11	介護支援専門員として利用者に関わる中でどのようなことに困りましたか。	介護支援専門員がどのようなことに困っているのかを把握し、今後の研修などの参考とする。		○	○
12	介護支援専門員として必要な知識をどのように得ていますか。	介護支援専門員がどのようなことに知識を得ているのかを把握し、今後の研修などの参考とする。		○	—
13	災害時に備えて担当している利用者に対してどんなケアが必要か考えたことはありますか。	災害時に介護支援専門員が必要と感じるケアについて質問し、今後の施策展開の参考とする。		○	—
14	災害時に介護支援専門員として担当している利用者に対してどんなケアが必要だと思いますか。(○は3つまで)	災害時に介護支援専門員が必要と感じるケアについて質問し、今後の施策展開の参考とする。		○	—
15	各種介護保険サービスの充足状況をどのように思うか、サービス毎に記入してください。	施設整備の参考とする。		○	—

介護支援専門員アンケート(桃色)設問について

設問番号	設問	考え方	国設問	市独自設問	過去からの継続
16	介護保険サービス以外にあれば良いと思うサービスは何ですか。	今後整備していく生活支援サービスで、どのようなものを導入していけば良いか把握する。		○	○
17	介護保険サービス以外のサービスを紹介したことがありますか。	今後整備していく生活支援サービスのうち、現在どのようなものがあるのか把握する。		○	○
18	介護保険サービス以外の情報をどのように得ていますか。	今後整備していく生活支援サービスの情報提供の場としてどのようなものが効果的なのか把握する。		○	○
19	あなたは、ケアプランに関して悩んだときなどに、だれに相談することが多いですか。	市や地域包括支援センターとの連携の状況を把握する。		○	○
20	退院支援や調整をする中でどのようなことに困りましたか。	退院調整等の時に、医療と介護の連携が図れているか現状を把握する。		○	○
21	病院における退院前カンファレンスが開催される時には、参加していますか。			○	○
22	退院時に、病院の主治医または連携担当者（地域連携室など）と円滑な連携がとれていますか。			○	○
23	利用者の病状や健康状態について主治医と連絡をとっていますか。	医療と介護の連携の現状を把握する。		○	○
24	あなたが医療機関（主治医）との連携が必要だと思われるケースでは、実際に医療機関（主治医）と連携が図れていますか。	医療と介護の連携の現状を把握する。		○	○
25	連携が図れていない主な理由は何ですか。	医療と介護の連携の障壁となっている要素を把握する。		○	○
26	利用者の服薬管理などについて薬局（薬剤師）と連携が図れていますか。	薬局（薬剤師）と連携が図れているか現状を把握する。		○	○
27	連携が図れていない主な理由は何ですか。	医療と介護の連携の障壁となっている要素を把握する。		○	○
28	医療機関と連携を図るために必要なことは何だと思えますか。	今後の医療や地域包括支援センターとの連携について、介護支援専門員が求めているものが何かを把握する。		○	○
29	地域包括支援センターと連携していますか。	地域包括支援センターとの連携の現状を把握する。		○	○
30	市や地域包括支援センターと連携するときにはどのような場合ですか。	市や地域包括支援センターとの連携の現状を把握する。		○	○
31	困難事例などを地域包括支援センターに相談したことがありますか。	今後増加が予測される困難事例について、地域包括支援センターとの連携の現状を把握する。		○	○

介護支援専門員アンケート(桃色)設問について

設問番号	設問	考え方	国設問	市独自設問	過去からの継続
32	地域包括支援センターにどのような役割を期待していますか。	今後の地域包括支援センターとの連携について介護支援専門員が求めているものが何かを把握する。		○	○
33	今後市に期待する役割は何ですか。	介護支援専門員が行政に何を求めているのかを把握する。		○	○
34	家庭内における高齢者虐待の事例を経験(担当)したことがありますか。	高齢者虐待について、どれくらいの介護支援専門員が経験をしているのか現状を把握する。		○	○
35	今までに高齢者虐待を疑う事例に出会ったとき、市や地域包括支援センターへ相談(通報)しましたか。	高齢者虐待を疑う事例については、市や地域包括支援センターへ通報する義務がありますが、どの程度通報されているのか現状を把握する。		○	○
36	相談(通報)しなかった理由は何ですか。	通報しなかった理由を把握することで、今後の市や地域包括支援センターの在り方などを検討する一つの材料とする。		○	○
37	高齢者虐待への対応として必要な制度や仕組みはどのようなものだと思いますか。	高齢者虐待への対応として、市や地域包括支援センターとの連携に介護支援専門員が何を求めているのかを把握する。		○	○
38	認知症高齢者への支援において、困っていること(困ったこと)はありますか。	今後増加が予測される認知症高齢者について、介護支援専門員が何に困っているのか現状を把握する。		○	○
39	認知症高齢者への支援で必要なことはどのようなことだと思いますか。	介護支援専門員の視点から、認知症高齢者の支援について何が必要と感じているのかを把握する。		○	○
40	今後、認知症対策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。	介護支援専門員の視点から、市に求められているものが何かを把握する。		○	○
41	加古川市では、認知症の人や家族を支援するために、市内の地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置していますが、知っていますか。	認知症施策の一環として平成25年度より各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置しているが、その認知度を把握する。		○	○
42	加古川市では、認知症の基礎知識や認知症の人への接し方を学ぶ「認知症サポーター養成講座」を開催していますが、知っていますか。	認知症に関する事業の認知度を把握する。		○	○
43	加古川市では、地域で認知症の方を見守るため、徘徊される方を日常から見守り、早期発見・早期保護するための「見守り・SOSネットワーク」を実施していますが、知っていますか。	認知症に関する事業の認知度を把握する。		○	○

介護支援専門員アンケート(桃色)設問について

設問番号	設問	考え方	国設問	市独自設問	過去からの継続
44	認知症の人とその家族、地域の方など誰もが気軽に集える場としての認知症カフェを知っていますか。	認知症に関する事業の認知度を把握する。		○	○
45	成年後見制度について制度の概要を知っていますか。	成年後見制度の認知度を把握する。		○	—
46	あなたの担当している利用者で日常生活自立支援事業（福祉サービス利用支援事業）や成年後見制度を利用されている人はいますか。	成年後見制度に対する潜在的なニーズ（特に量的側面）を把握する。		○	—
47	成年後見制度を利用することとなった動機は何ですか。	専門職がどのような点から成年後見制度の利用を考えるきっかけとなったかを把握する。		○	—
48	あなたの担当している利用者で既に成年後見制度を利用している人を除き、制度を利用したほうがいいと思われる人はいますか。	成年後見制度に対する潜在的なニーズ（特に量的側面）を把握する。		○	—
49	利用したほうがいいと思う理由はなんですか。	専門職がどのような点から成年後見制度の利用を考えるきっかけとなったかを把握する。		○	—
50	成年後見制度を利用をすべきであるが、利用に至らない理由は何ですか。	潜在的な需要が利用につながらない要因を把握する。		○	—
51	在宅での生活を続けるために必要なことはどのようなことだと思いますか。	介護支援専門員の視点から、在宅介護で必要なことが何かを把握する。※看取りに関わったことがある介護支援専門員の回答とクロスさせる。		○	○
52	要介護者が最期をむかえる場所として、どのような場所がふさわしいと考えていますか。	施設整備や在宅サービスの充実などの参考とする。		○	○
53	在宅での看取りに関わった経験がありますか。	看取りに関わったことがある介護支援専門員数を把握する。		○	○
54	在宅で看取りをするために連携できる医師がいますか。	医師との連携状況を把握する。		○	○
55	あなたは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP、人生会議）について、知っていますか。	ACP（人生会議）の認知度を把握する。		○	—
56	このような話し合いを進めることについて、あなたはどう思いますか。	ACPについての賛否を把握する。		○	—
57	ACPを実施したことがありますか。	ACPの経験・浸透度合を把握する。		○	—

介護支援専門員アンケート(桃色)設問について

設問番号	設問	考え方	国設問	市独自設問	過去からの継続
58	話し合ったことがある人は、いつごろでしたか。	ACPが実施された年齢層を把握する。		○	—
59	もし、家族や医療介護関係者等と医療・療養について話し合う（人生会議を実践する）時期があるとすれば、いつごろが適切な年齢だと思えますか。（話し合ったことがある人は、いつごろでしたか。）	ACPを実施するのに適切と考える時期を把握する（問58と比較）。		○	—
60	ACPをだれに対してするべきと思えますか。	ACPを実践するべきと思う人の状態像を把握する。		○	—
61	ケアプランニングの流れの中でACPを実践できますか。	通常業務の中にACPを組み込むことが可能か把握する。		○	—
62	ACPを実践できない（難しい）と思う理由は何ですか。	通常業務の中にACPを組み込むことができない要因を把握する。		○	—
63	あなたは、自分が意思決定できなくなったときに備えて、どのような医療・療養を受けたいか（受たくないか）などを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについてどう思えますか。	意思表示の書面作成についての賛否を把握する。		○	—
64	もし、家族や医療介護関係者等と医療・療養について話し合うきっかけがあるとすれば、どのような出来事だと思えますか。（話し合ったことがある人は、何がきっかけでしたか）	ACPを実践する際、何がきっかけとなりうるかを把握する。		○	—
65	あなたは、「かこリンク」を知っていますか。	在宅医療・介護連携推進事業の認知度を把握する。		○	—
66	あなたは「在宅医療・介護連携支援事業」として、どのようなことに力を入れる必要があると思えますか。	在宅医療・介護連携推進事業の今後の施策展開の参考とする。		○	—